年度途中の利用状況

社会に貢献した本学図書館の貴重書

本学図書館は出版社やテレビ局などに資料を提供しています。今年度は11月現在で16件の申し込みに対して提供致しましたが、すでに出版や放送が終わったもののみをお知らせいたします。

（平成18年7月1日～10月11日終了分）

	貴重書名	掲載書名および発信者	掲載（放映日）頁及び刊行日
1	シーボルト『日本』（1852年より 踏み絵の図	『小6エブリスタディ』7月号 （㈱Z会）	55頁に掲載　平成18年７月１日刊行
2	カルディン『日本の花束』（1646年より カルロ･スピノラ殉教図	『国家史』新体系日本史･第1巻 （㈱山川出版社）	294頁に掲載　平成18年８月25日刊行
3	イシドール 『語泉』（14世紀）	『天空地球ユーラシア 古地図が描く世界の姿』 （　横浜ユーラシア文化館）	12頁に掲載　平成18年９月16日刊行
4	シーボルト『日本』（1852年より 踏み絵の図	『ニューワイドずかん百科 ビジュアル日本の歴史』 （㈱学習研究社）	171頁に掲載　平成18年９月25日刊行
5	『日本イエズス会書簡集』（1598年 エヴォラ版	「その時歴史が動いた 神は我を救い給うか キリシタン　細川ガラシャの生涯」 （日本放送協会大阪放送局）	NHK総合　平成18年10月11日放送

＊なお、洋書は日本語表記しております。

本年度の現在（11月末日）までの貸出冊数は昨年度を上回っています

本学図書館が今年度の4月1日から利用者に貸し出した図書の冊数は、11月30日現在で30,669冊となっています。これは、昨年度の同じ期間の冊数を2,563冊上回る数値です。

「京都外大図書館市民利用制度」の登録者が増加しました

本学図書館は、地域住民や一般市民の方々に対し、「京都外大図書館市民利用制度」を設けて図書館を公開しています。今年度に入り登録者数は41名（11月30日現在）に達し、昨年度一年間の登録者数21名を大きく上回っています。

この制度は本学図書館が学外の方々の生涯学習を支援するために作っているものですので、学生や教職員の皆様の一層のご理解をいただきますようお願いします。

NACSIS-ILL 相殺サービス参加について

本学図書館は昨年の4月1日付で「国立情報学研究所ILL文献複写等料金相殺サービス」に参加いたしました。これは、大学図書館間で行われているILL（Interlibrary Loan）システムを用いた相互協力で、本の貸し借りや論文のコピーを送付してもらうときに発生する料金が依頼側と受付側で利用料金が相殺されて必要分だけの金額を国立情報学研究所に一括して支払うものです。このサービスに参加したことにより、事務処理が大幅に軽減され、またこれまで利用者負担となっていた送金手数料も必要がなくなりました。

2006年11月1日現在のILLによる現物貸借および文献複写の処理件数は依頼・受付それぞれ以下のとおりです。

貸借依頼　44件（昨年度同時期　24件）
貸借受付 161件（昨年度同時期　88件）
複写依頼 220件（昨年度同時期 106件）
複写受付 195件（昨年度同時期　70件）